

高退協ニュース

No. 198
2016年
1月1日
発行 協局
高知 高退協
事務 事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目1番10
高知城ホール高知教組交付
連絡先 Tel. 088-822-6822
郵便振替口座 〇二六五〇二二二八九三

力を合わせて 頑張りましょう

高退協会長 倉橋楠雄



倉橋会長

会員の皆様、新年明けましておめでとうございませう。まずは、皆様の健康とご多幸をお祈りし、高退協の活動により一層ご協力いただけることをお願い致します。

さて、昨年は戦後70年の節目の年、安保法制が成立したことは残念でしたが、「SEALDs」の活動に代表される若者たちが声を上げ、日本の将来に希望をつなぐことのできる一年でもありました。何度か集会に参加し、若者や若いママたちの参加が段々増えていくことに、「日本も捨てたものではない」と光を見ている思いでした。「安倍政権」の目論見とは裏腹に、多くの国民が、国のあり方、憲法、平和と戦争を自分のこと引き寄せて考えることができた一年だったのではないのでしょうか。特に、国を焦土と化し、多くの犠牲をばらい、アジアの近隣の人々を苦しめた戦争の実相が、多くの映像や証言で語られたことも大きかったと思います。印象に残っているのは、近頃は御用マスメディアと悪評高いNHKが6月に放送した「沖縄戦全記録」です。沖縄の人々が死亡した場所と人数の集計が日ごとにグラフ化され、示されていく。戦争の恐ろしさと悲惨さを胸の奥に呼び起こすものでした。今、多くの国民が再び戦禍に巻き込まれていくのではな

戦争をしない国に

いかという不安を持っています。70年間、戦争によって殺すことも殺されることもなかった私たちは、このことをこれまで以上に誇りに思い、これからも憲法の平和主義を守り抜いていかなければなりません。昨年の12月7日付朝日新聞に6日に東京で行われた安保法制に対する抗議デモの記事がありました。「熱は冷めていない。民主主義を問い続ける」と。私たちは今年もあきらめません。

この夏には参院選もあります。18歳も選挙に参加します。若者たちに「戦争をしない国」を引き継いでいかなければなりません。力を合わせて頑張りましょう。

高退協発足40周年記念祝賀会・大望年会が十一月二十九日（日）、高知城ホール4Fで三六人が参加し

高退協四〇周年望年会・芸能大会

舞踊「人恋酒場」妖艶な踊りに拍手喝采

松本 縁

浜田・岡崎・和田さんらが40年の思いを語る



「緑の山河」を天谷唱

高退協発足40周年祝賀会、芸能祭・大望年会が十一月二十九日（日）、高知城ホール4Fで三六人が参加し

国松顧問の乾杯、しばしの歓談の後、芸能祭・大望年会に突入しました。まず岡崎（清）さんの力強い詩吟で心を奮い立たせた後、毎年恒例の井上（徳）さんの「シバテン踊り」。軽妙な踊りにみんな爆笑。まだ十年はいけると



「人恋酒場」の渡辺さん

て、盛大に開催されました。四〇周年記念行事というところで、物故会員への黙祷を捧げ、倉橋会長の挨拶、竹島高教組委員長の挨拶の後、三人の方々に「高退協を語る」というテーマでスピーチをしていただきました。

最長老、九五歳の浜田昌俊さん、顧問の岡崎清恵さん、同和田明さんが高退協の四〇年の歴史、高退協への思い、事務局への要望などを熱く語ってくれました。親睦旅行のこと、亡くなられた仲間の追悼文集のこと、山の会、名簿のことなど、一人七分以内という制約の中では語りつくすことはできず、もっと話をしていたたく機会をつくってはどうかという思いを抱きました。

顔を出す仕事のかわいさ(?)に大笑笑でした。さらに加藤（敏）さんの「銀座カンカン娘」。スカートとヒラヒラさせ、軽やかなステップに井上シバテンも再登場していました。KTK七〇（島本（聡）さん、渡辺（正）さん、田村（昌）さん、川村（か）さん）のすばらしい演奏、柳井卓さんの伴奏での畑山（佳）さんの歌、その間に加藤菊さんもスピーチをしてくれ、最後は「緑の山河」を大合唱し、四〇周年を祝うにふさわしい宴となりました。

哀悼
福永 信之さん
12月9日逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



95才で元気な浜田さん

会場には書、絵画、写真、さをり、野菜などの作品が飾られ、会員みなさんの日頃の成果や芸に心動かされました。四〇周年記念にしては少し参加者が少なかったのが残念ですが、一度参加したら、その楽しさに病みつきになるのではないのでしょうか。

来年はもっともっとたくさんの方の参加をお待ちしています。（望年会の写真は5ページに掲載）